



5月号

三角小だより

ふじみ野市立三角小学校
令和7年5月1日



【学校教育目標】

ゆめのある子
・かしこい子 (知)
・やさしい子 (徳)
・たくましい子 (体)

今年度の取組

校長 湯本 貴幸

今年の桜は見ごろが長続きし、例年になく春を満喫できました。多くの方が幸せな気分を味わえたのではないのでしょうか。

さて、始業式の新たな出会いから、1か月が経ちました。子供たちも環境の変化に慣れ始め、気づかぬうちにため込んだ疲労が出やすい時期となります。体調管理には十分お気を付けてください。

昨年の始業式では、「感謝の気持ちを伝えること」、「無言清掃のこと」について話をしました。昨年1年間で、子供たちは意識をもち続け、「ありがとう」が響き合う学校になってきたとつくづく感じています。また、「無言清掃」も定着しつつあり、物音のしない静寂な空間で清掃活動ができています。これも、誉めるべき子供たちの「考動」でした。今年も引き続き「深化」するものと期待しています。

今年の始業式でも、2つの話をしました。ひとつは本校のスローガンにある「明るいあいさつ 笑顔あふれる 三角小」の「あいさつ」についてです。毎年よくなっている事実はあるものの、声が相手に届かないこともあります。今年は「明るい」を意識していくことを確認しました。そして、「笑顔あふれる」では、三角小に通う全員がそうあってほしいという願いから、「正しいと思うことをやろう」という話をしました。皆が正しいと思うことをやっていけば、嫌な気持ちになる子がいなくなり「笑顔あふれる」学校に必ずなると信じているからです。自分のやっている行為は本当に「正しいこと」なのかを自問自答させたり、学校としても「正しいこと」を考えさせたりする声かけを継続していきます。

また、今年は「さらに一歩前へ」をテーマに掲げました。昨年に引き続き、挑戦していく意欲をもち続け、今まで取り組んできたものをさらに一歩進めていきます。学習面を例にいくつかあげますと、①ICTをさらに活用していきます。使用するだけからは脱却し、ICT機器の使用が効果的な学びに直結しているのかを考えて取り組んでいきます。②自由進度型学習をさらに追求していきます。昨年は学校で自由進度型学習に取り組みました。成果と課題を分析しながら、どの教科で行うのか、どの単元で行うのか、どの場面で行うのかをより深く考えていきます。③思考する授業をさらに徹底していきます。「なぜ」「どうして」という発問を中軸に、考えの根拠をもたせ、人に自分の考えを説明できる子供たちを育てていきます。その他、生活面、運動面など、昨年まで取り組んできたものから「さらに一歩前へ」進んでまいります。引き続き、本校の教育活動にご理解、ご協力をお願いいたします。

※大型連休中は事故等にあいませんよう、十分お気をつけください。よい休日をお過ごしください。